

1.1.1 「見える化」資料の作成

これまで行われた「環境にやさしいライフスタイル実態調査」に同一設問があり比較可能な項目を中心に、国民の環境意識の変化を「見える化」した資料を作成した。なお、資料作成に当たっては、「20代・30代の変化」に着目することとし、「20代・30代の変化」を見るための資料を作成した。作成した資料を次頁より示す。

(1) 関心のある環境問題

20代、30代ともに最も関心のある環境問題は、平成14年度以降は「地球温暖化」となる。令和元年度調査では20代・30代ともに約7割の人が「地球温暖化」問題に関心をもっている。

令和元年度調査における20代・30代での違いとしては、30代は「地球温暖化」、「大気汚染」、「海洋の汚染」の順に関心が高いが、20代は「地球温暖化」、「森林の減少」、「大気汚染」の順に関心が高くなる。

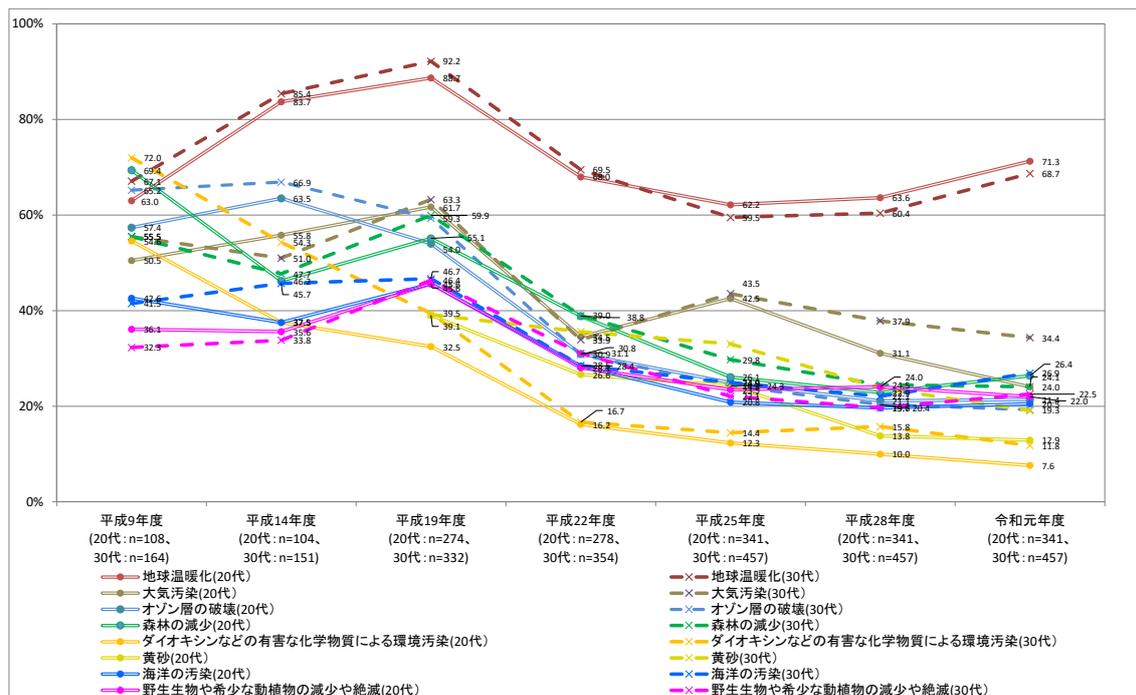


図 1-1 関心のある環境問題の変化(20代と30代)

*20代・30年代各上位3位(各調査時)に入った項目のみを抽出して作成。

*調査年度により調査方法、サンプル数及びサンプル属性割合、選択肢等が異なる。

(2) 近年の環境の状況についての実感

地域レベル、国レベル、地球レベルのいずれも、20代、30代とも傾向に差はない。20代・30代ともに、地域、国、地球と範囲が大きくなるにつれて「(やや)悪化している*」と感じている。身近な環境よりも世界的な環境について悪化を感じているといえる。

地域レベルでは20代、30代とも全ての年度で「変わらない」との回答が最も多くなっており、令和元年度調査では20代・30代ともに約半数が「変わらない」と感じている。国レベルと地球レベルでは、20代、30代ともに全ての年度で「(やや)悪化している」との回答が最も多くなっており、令和元年度調査では国レベルは20代・30代ともに約6割が、地球レベルでは約7割が「(やや)悪化している*」と感じている。

*: やや悪化していると回答した人+悪化していると回答した人

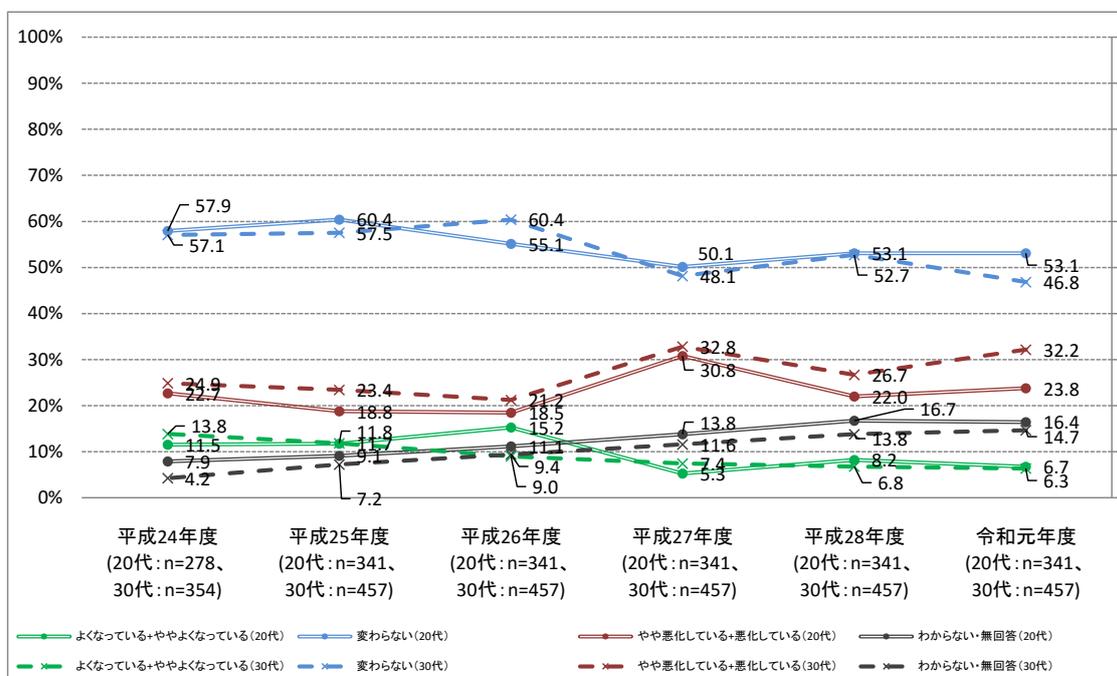


図 1-2 近年の環境の状況についての実感の変化(20代と30代、地域レベル)

*調査年度により調査方法、サンプル数及びサンプル属性割合、全体の設問設計等が異なる。

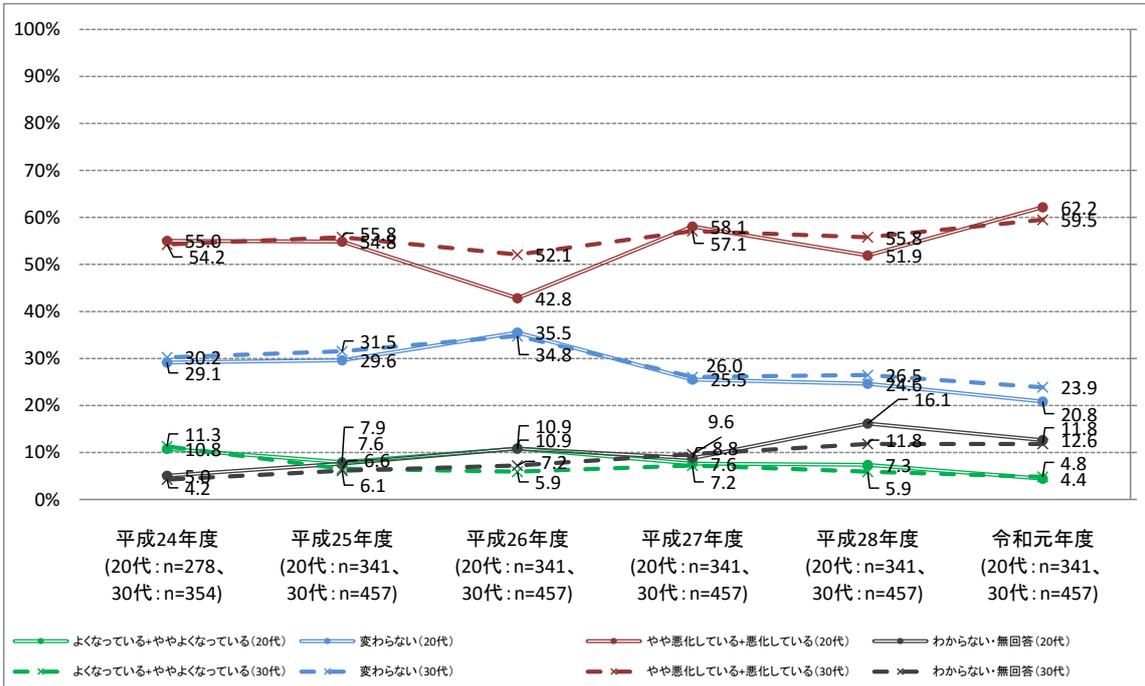


図 1-3 近年の環境の状況についての実感の変化(20代と30代、国レベル)

* 調査年度により調査方法、サンプル数及びサンプル属性割合、全体の設問設計等が異なる。

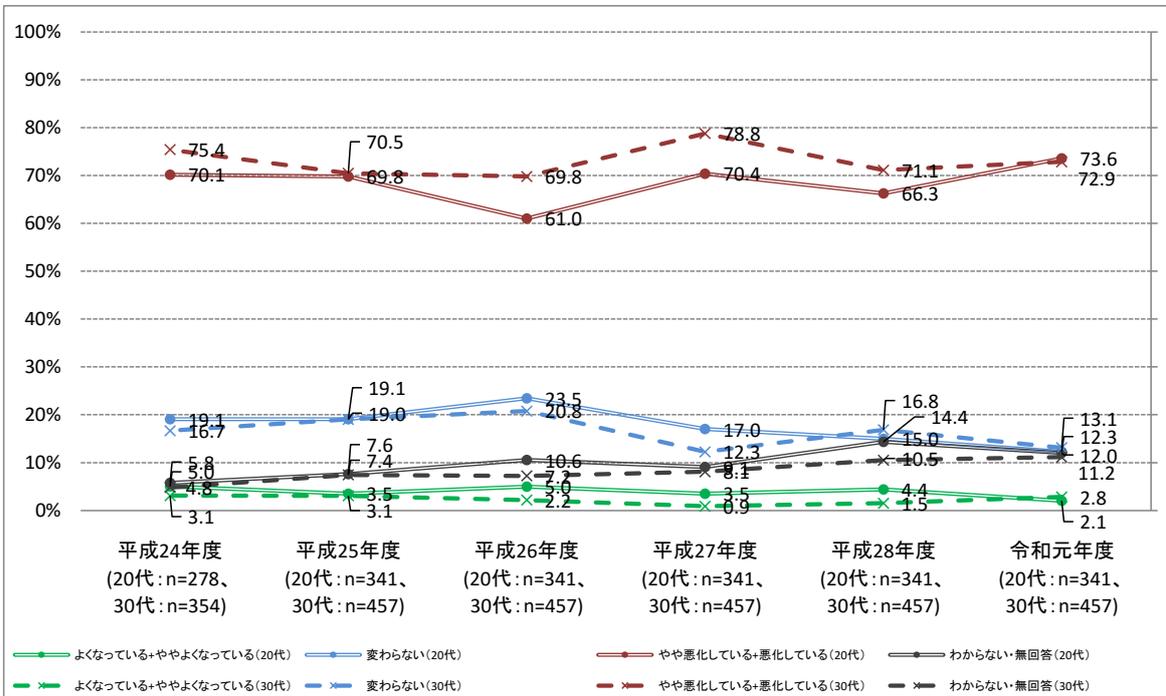


図 1-4 近年の環境の状況についての実感の変化(20代と30代、地球レベル)

* 調査年度により調査方法、サンプル数及びサンプル属性割合、全体の設問設計等が異なる。

(3) 現在の環境の状況についての満足度

20代・30代ともに、地域レベル、国レベル、地球レベルの順に「(あまり)満足していない*」人の割合が多い。身近な環境よりも世界的な環境について不満足な状況といえる。

令和元年度調査では、地域レベルでは「どちらともいえない」と回答した人の割合が約4割と20代・30代ともに最も多いが、地球レベルでは「(あまり)満足していない*」と回答した人の割合がともに約5割と最も多くなっている。

*:「あまり満足していない」と回答した人+「満足していない」と回答した人

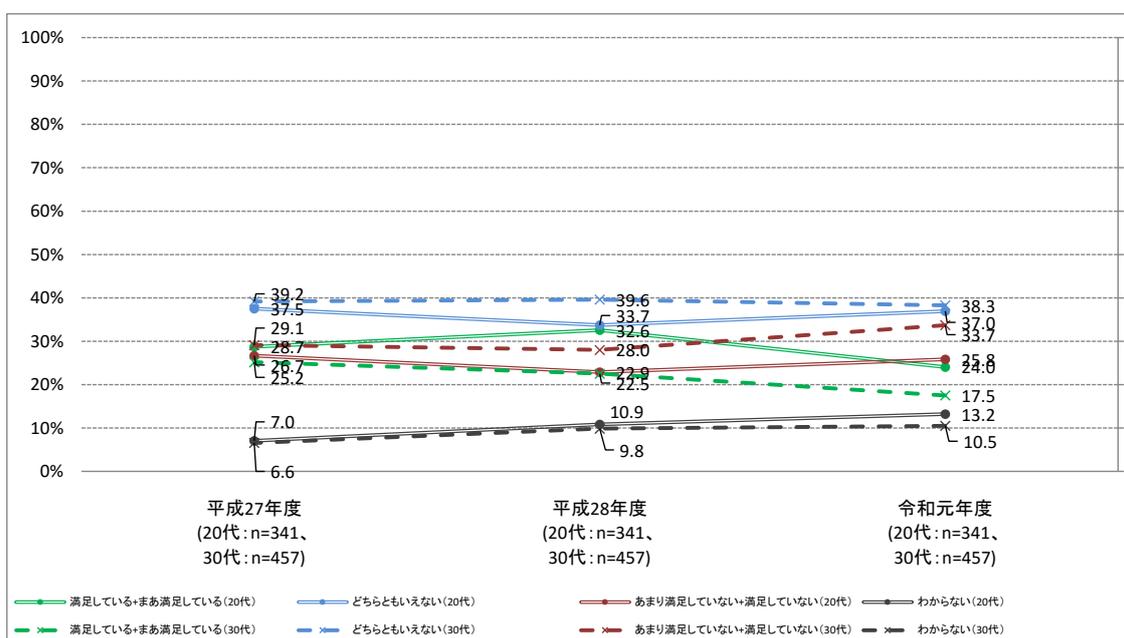


図 1-5 現在の環境についての満足度の変化(20代と30代、地域レベル)

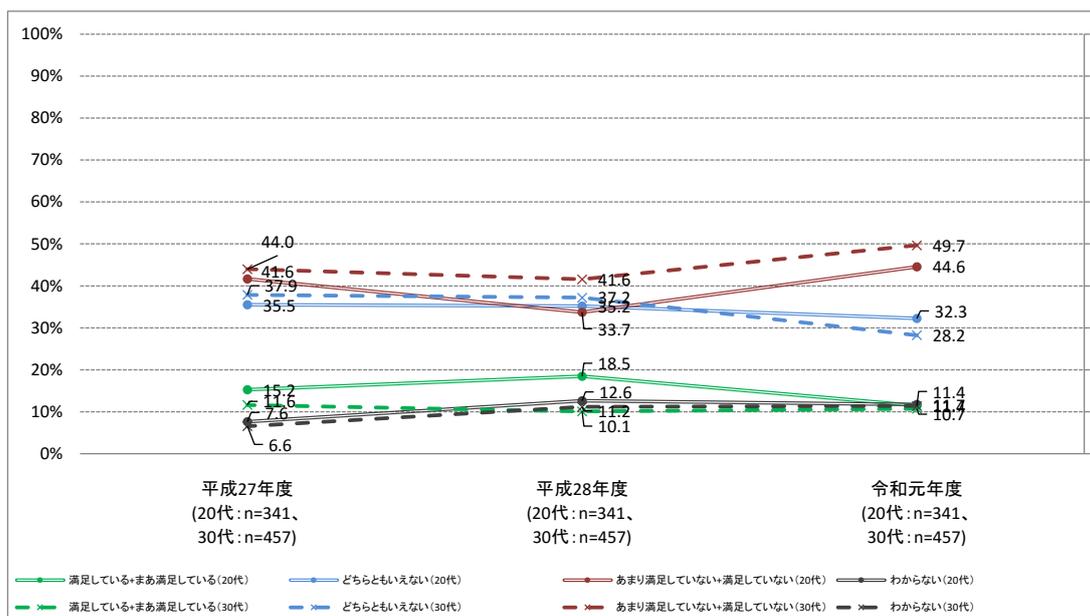


図 1-6 現在の環境についての満足度の変化(20代と30代、国レベル)

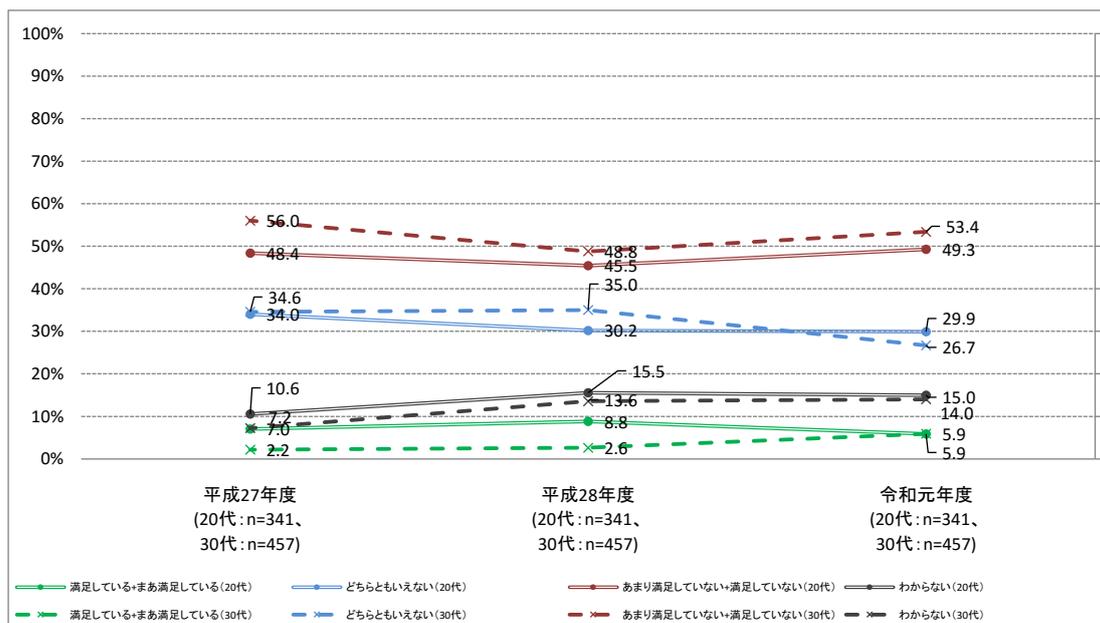


図 1-7 現在の環境についての満足度の変化(20代と30代、地球レベル)

(4) 今後の環境の状況に対する不安

20代・30代ともに今後の環境の状況に対して高い不安を感じている。いずれの年も20代よりも30代の方が不安を感じている人が多い。

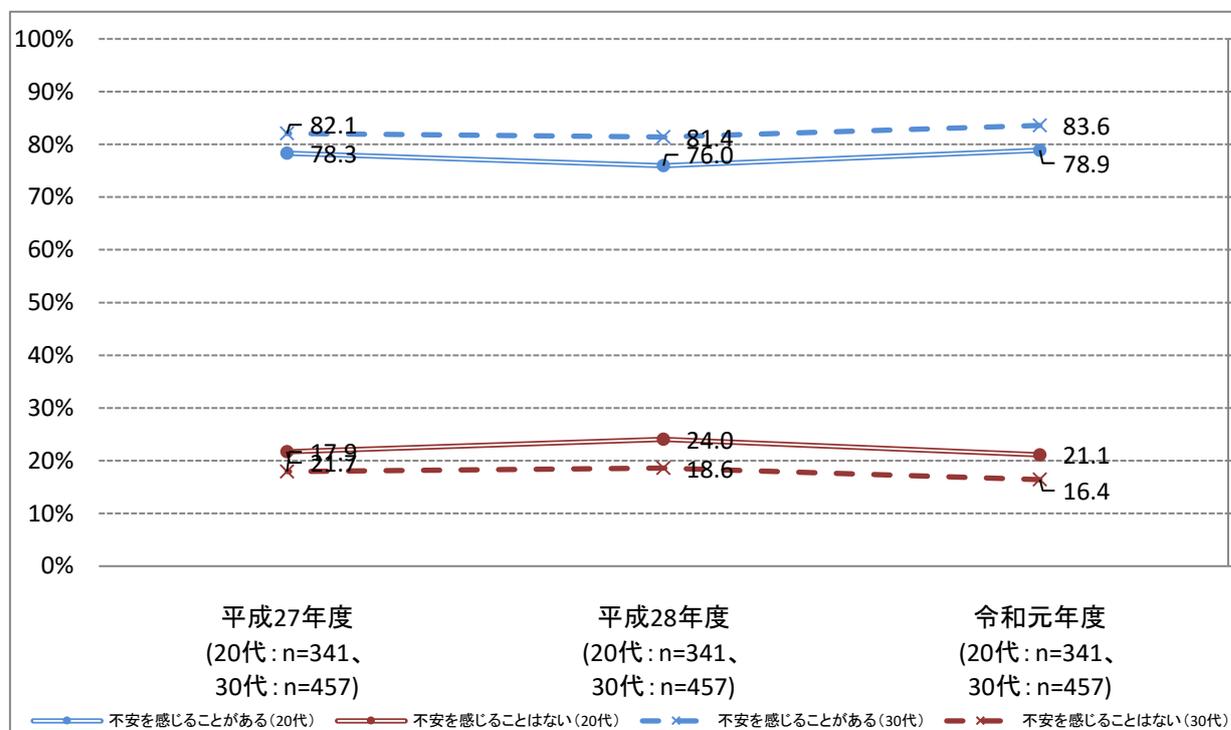


図 1-8 今後の環境の状況に対する不安の変化(20代と30代)

(5) 環境問題に対する考え方等への意見・考え

以下の項目について、令和元年度調査で、20代および30代それぞれで「大変そう思う」と「そう思う」を選択した割合が多くなった上位3項目について経年変化をグラフ化した。

1	環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる
2	日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている
3	大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である
4	環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である
5	地域の人たちが協力して、その地域の環境保全活動に取り組むことは地域コミュニティの活性化にもつながるので重要である
6	大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるための環境教育や環境学習は重要である
7	環境に関わる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することは重要である
8	我が国が、国際社会において環境面からの積極的な寄与・参加を行うことは重要である
9	行政が環境保全に関する施策を進めるに当たっては、施策を考える段階から、国民も積極的に参加できるようにする必要がある

令和元年度調査では、20代・30代ともに「大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるための環境教育や環境学習は重要である。」が最も多い回答(約85%)となった。

20代では次いで「環境に関わる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することは重要である。」と「大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である。」が同率で2位となり、30代では「環境に関わる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することは重要である。」、「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている。」の順となった。

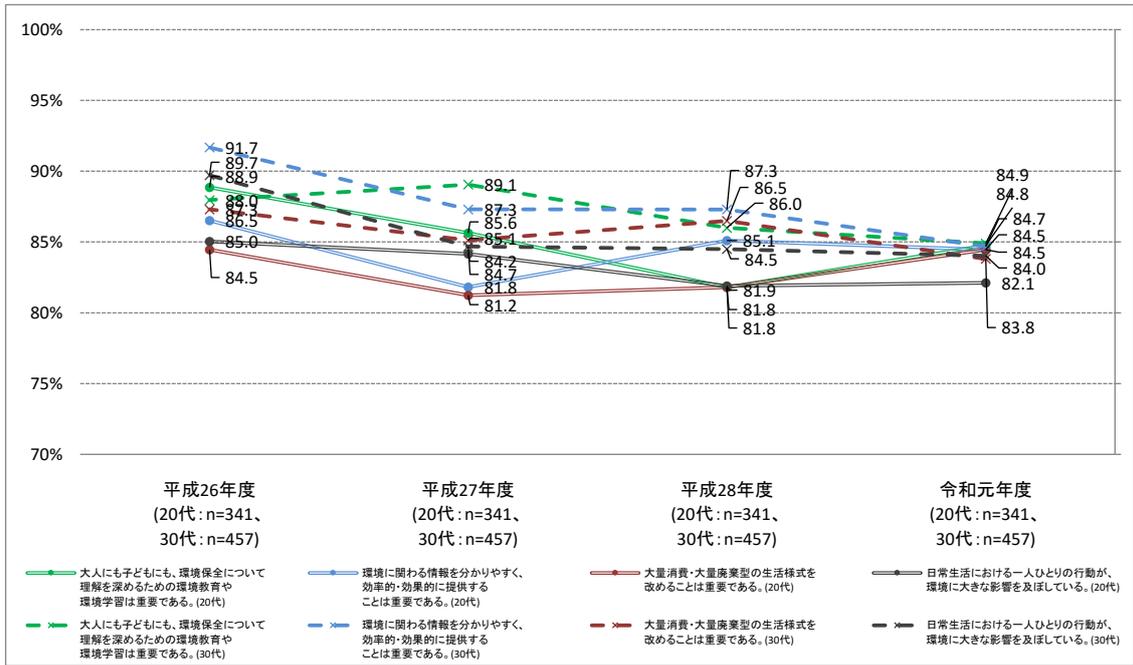


図 1-9 環境問題に対する考え方等への意見・考えの変化(20代と30代)

* 令和元年度調査の上位3項目のみを抽出したもの

(6) 環境配慮行動の実施意向

以下の環境配慮行動について、令和元年度調査で、20代および30代それぞれで「すでに行っており今後も行いたい」と「すでに行っているが今後は行いたくない」、つまり実施している人の割合が多くなった上位3項目について経年変化をグラフ化した。また、「すでに行っており今後とも行いたい」と「これまでに行ってないが今後は行いたい」、つまり実施意向の割合が多くなった上位3項目についても経年変化をグラフ化した。

1	日常生活において節電等の省エネに努める
2	再生可能エネルギー由来の電気等の環境負荷が少ない電気を調達する
3	クールビズ・ウォームビズに取り組む
4	日常生活においてできるだけごみを出さないようにする
5	不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユースにまわす
6	ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする
7	家庭で消費し切れない未使用食品は地域の福祉施設・団体等に寄贈するフードドライブに取り組む
8	運転の際には、不必要なアイドリングや空ぶかし、急発進はしない
9	日常生活において節水に努める
10	油や食べかすなどを排水口から流さない
11	買い物の時は、製品に含まれる化学物質を成分表示で確認して選んでいる
12	オーガニック商品(有機栽培の食品、衣類、化粧品等)を選んでいる
13	物・サービスを購入するときは環境への影響を考慮してから選択する
14	宅配便の再配達が発生しないよう努める
15	地域における環境保全のための取組に参加する(緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計画策定等)
16	体験型の環境教育・環境学習活動に参加する

実施率(すでに行っており今後も行いたい+すでに行っているが今後は行いたくない)をみると、20代・30代ともに「ごみは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする」人が最も多く、20代は73%、30代は約78%とともに7割を超えた。

20代では次いで「日常生活において節電等の省エネに努める」、「日常生活において節水に努める」となり、30代は、「油や食べかすなどを排水口から流さない」、「日常生活において節電等の省エネに努める」の順となった。

また、今後の実施意向(すでに行っており今後とも行いたい+これまでに行ってないが今後は行いたい)をみると、「日常生活において節電等の省エネに努める」(20代約79%、30代約81%)が、と「ごみは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする」(20代約76%、30代約81%)が上位2項目となった。

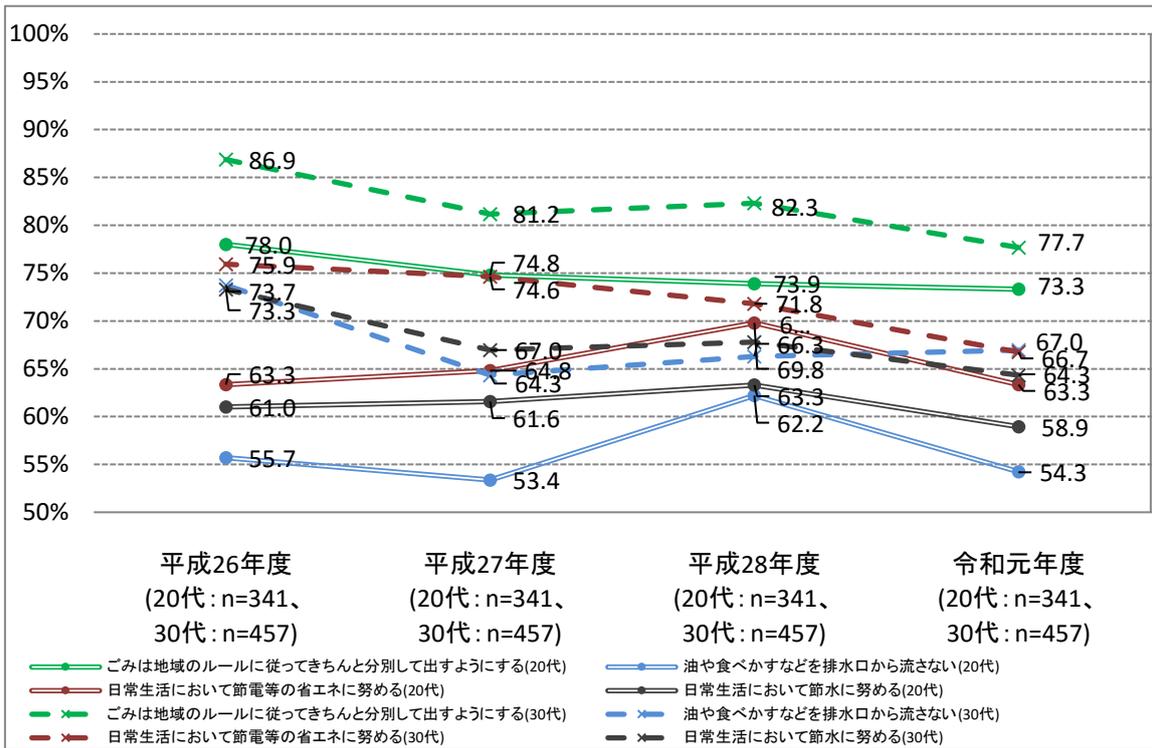


図 1-10 環境配慮行動を実施している人の割合の変化(20代と30代それぞれのトップ3、行動別)
 * 令和元年度調査の上位3項目のみを抽出したもの

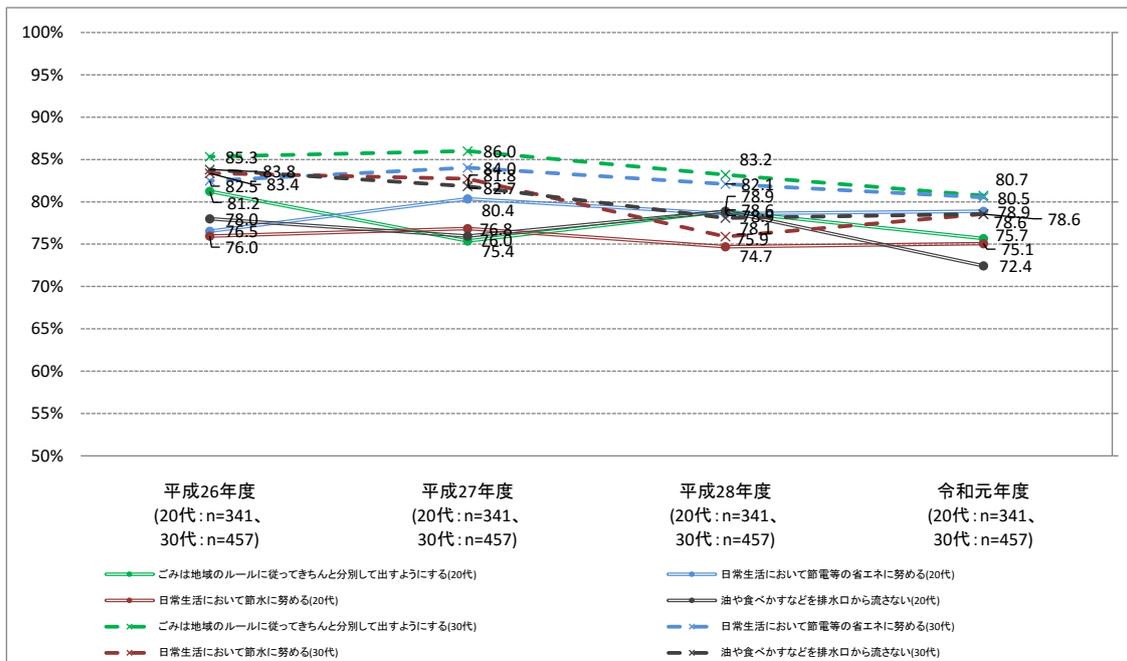


図 1-11 環境配慮行動の実施意向の変化(20代と30代それぞれのトップ3、行動別)

(7) 環境保全の主体

20代・30代ともに、環境を守る上で最も重要な役割を担っているのは「国民」と考えている人が最も多く約4割となる。

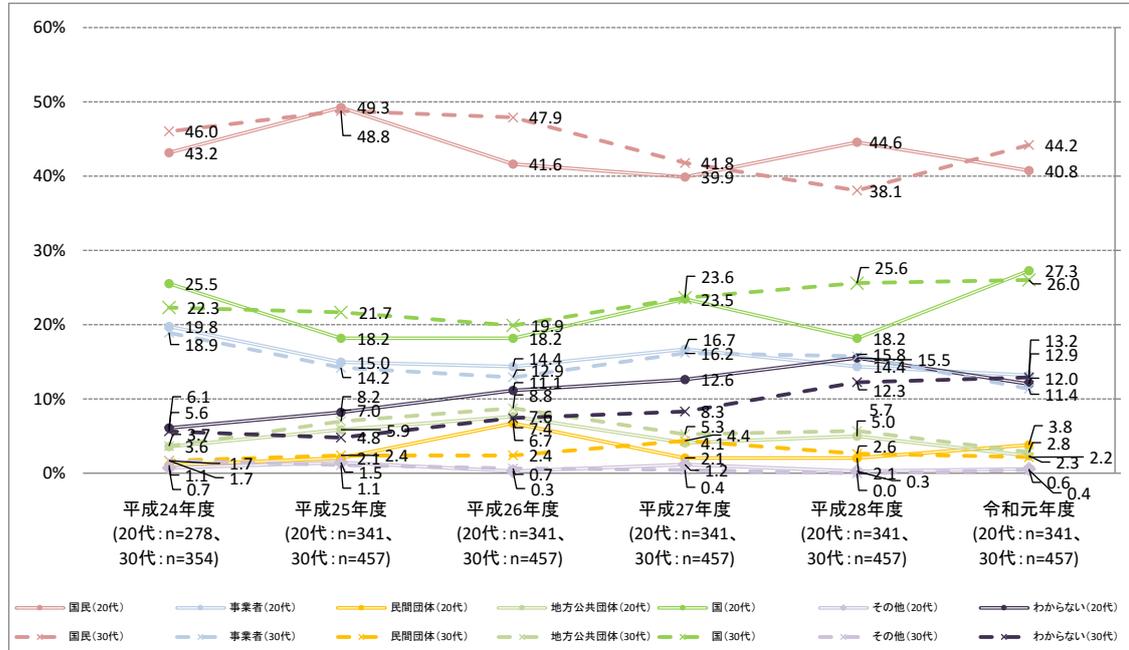


図 1-12 環境保全の主体(20代と30代、時系列)

(8) シェアリングサービスの活用

活用したことがあるシェアリングサービスは、20代・30代ともに「モノのシェア(衣類(フリーマーケット)、食(フードバンク)等)」が最も多く、今後活用したいと思わない人も入れると約2割が活用したことがある。「モノのシェア(衣類(フリーマーケット)、食(フードバンク)等)」以外のシェアリングサービスはいずれも活用経験者のうち今後も継続する意思がある人とない人の割合に大きな差がない状況であり、定着性に課題があることがうかがえる。

また、活用意向のない人(活用したことはあるが、今後は活用したいとは思わない+活用したことがなく、今後も活用したいと思わない)はほぼ全てで半数を超えている(最も低いスキルシェア20代で49.9%)。逆に活用意向が高い(活用していて、今後も活用したいと思う+活用したことはないが、今後活用したいと思う)項目は、20代・30代とも「スキルのシェア(介護、育児等)」が多く、それぞれ約50%、約45%となる。

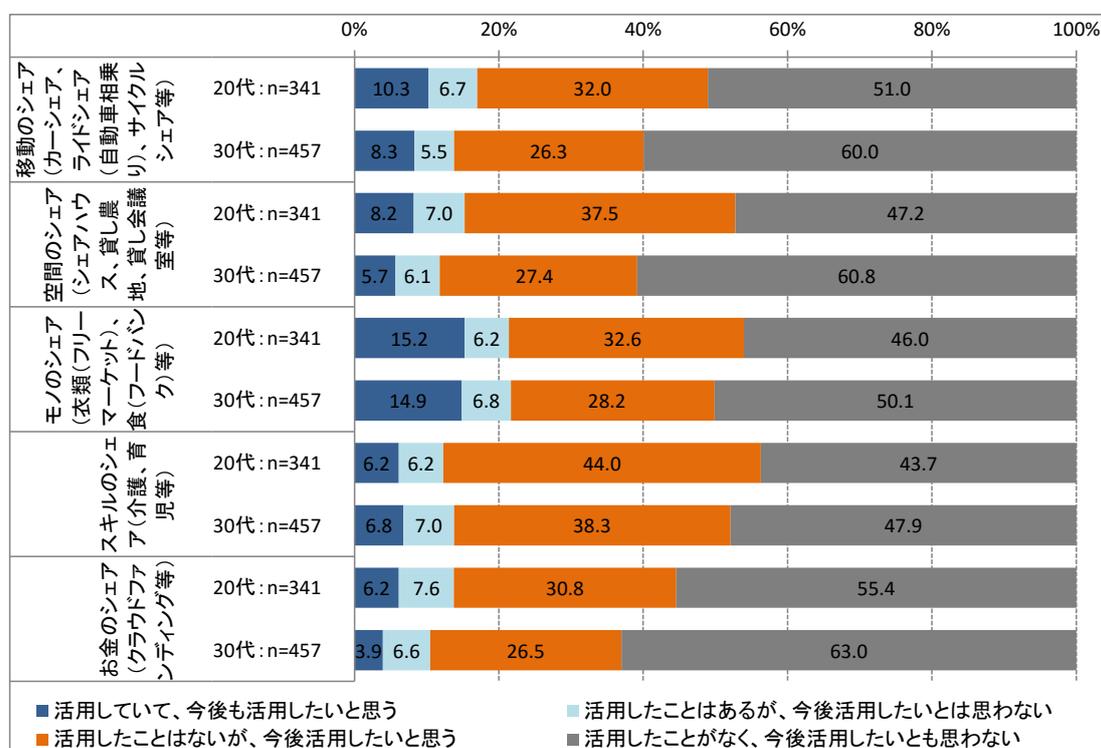
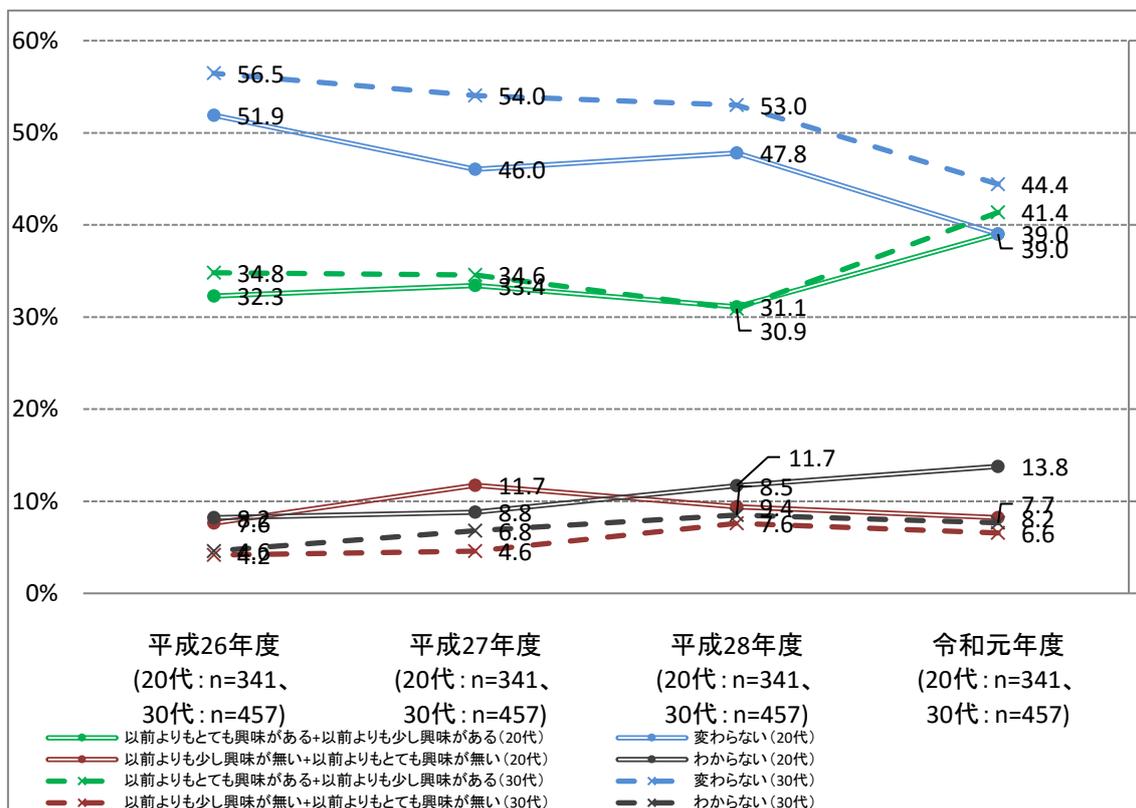


図 1-13 シェアリングサービスの活用(20代と30代)

(9) 環境情報に関する興味

これまででは1～2年前と比べて環境情報に関する興味は「変わらない」人が多かったが、令和元年度調査では興味が増している人の割合が増え、20代・30代ともに「以前よりも興味がある」人が約4割となった。



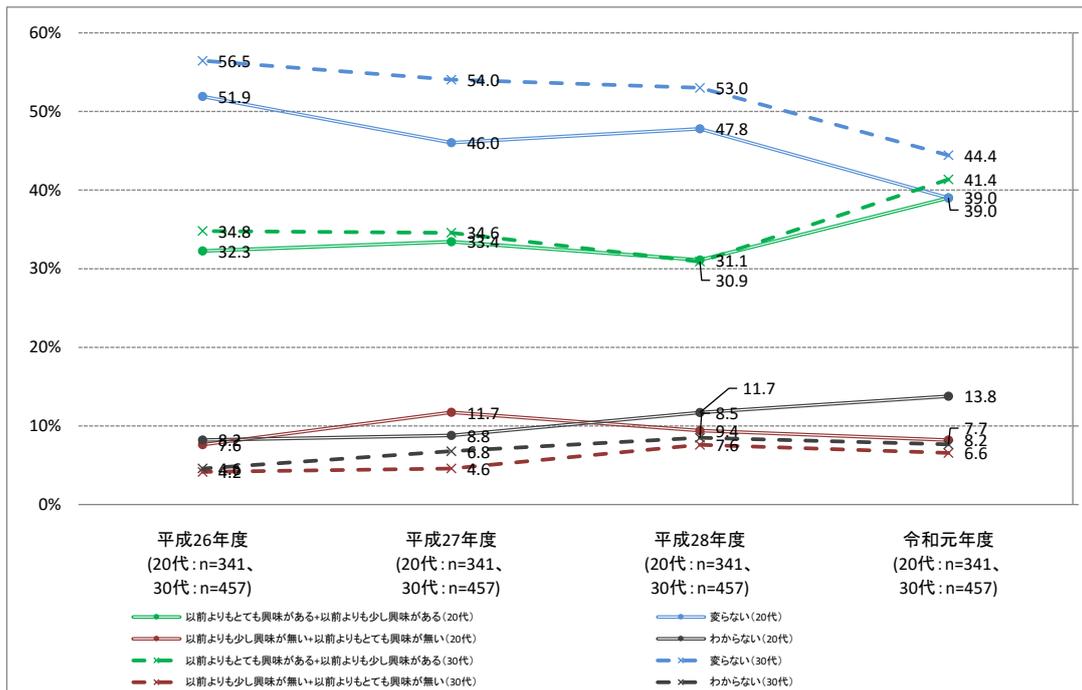


図 1-14 環境に対する関心の変化(20代と30代、時系列)

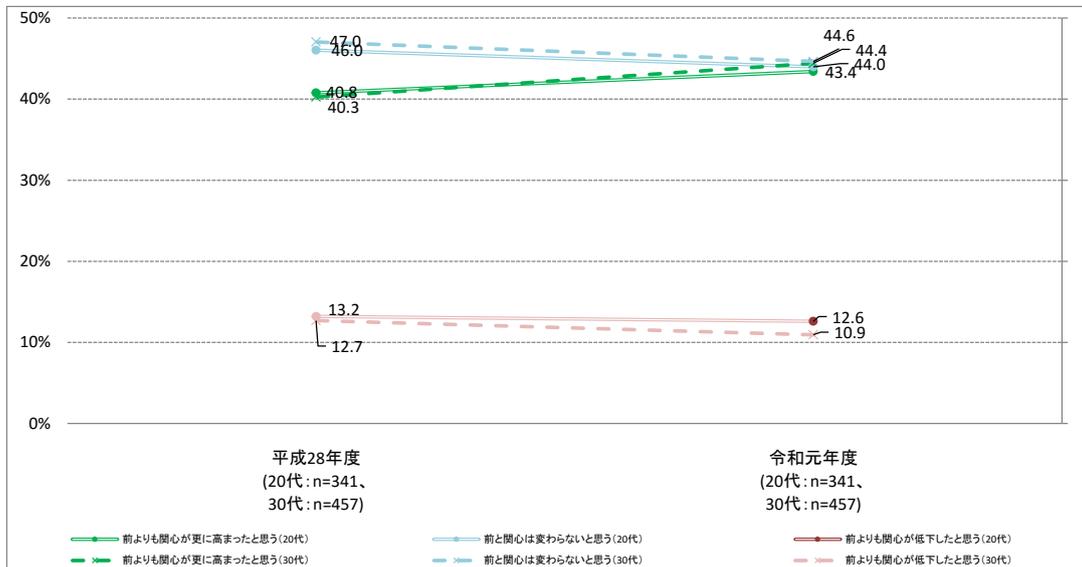


図 1-15 環境に対する関心の変化(20代と30代、時系列)

1.1.2 実施概要

(1) 調査方法

インターネットを用い、リサーチ会社が保有するモニターに対し、回答者の属性が、性別・年代別・地域別に、日本の人口比率とおおよそ一致するように設定をした上で、回答を依頼し、調査を実施した。

(2) 調査期間

令和元年 12 月 25 日(水)～令和元年 12 月 28 日(土)

(3) 回答者数及び回答者属性

回答者数は全国の 20 歳以上の男女 2,631 人となり、回答者属性は以下の通り。

① 性別

	N	%
男性	1,267	48.2
女性	1,364	51.8
合計	2,631	100.0

② 年代別

	N	%
20 歳代	341	13.0
30 歳代	457	17.4
40 歳代	423	16.1
50 歳代	415	15.8
60 歳代	465	17.7
70 歳代以上	530	20.1
合計	2,631	100.0

③ 居住地域別

	N	%
北海道・東北	322	12.2
関東	862	32.8
北陸	110	4.2
中部	369	14.0
近畿	420	16.0
中国・四国	253	9.6
九州・沖縄	295	11.2
合計	2,631	100.0

※地域区分は以下のとおり

- 北海道・東北(北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
- 関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)
- 北陸(新潟、富山、石川、福井)
- 中部(山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重)
- 近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)
- 中国・四国(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)
- 九州・沖縄(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

(4) 留意点

インターネットを使った調査の性質上、本調査では、全項目に回答しなければ完了しない設定としたため、無回答は存在しない。また、過去の調査とは調査方法やサンプル数及びサンプル属性割合、設問設計等が異なるため、単純比較は困難である点に留意が必要である。さらに、属性別についてはサンプルのばらつきが大きいものもあり、単純に比較できない点に留意が必要である。

1.1.3 調査票

調査票を次頁より示す。なお、実際の調査はインターネット調査で行ったため、体裁等は異なる。

令和元年度 環境にやさしいライフスタイル実態調査 調査票

○回答いただくに当たって

1. 各質問の回答は、指示に従い、当てはまる数字をチェックするか、数字や文章を記入してください。
2. 調査結果は、政府及び地方公共団体の環境行政の推進に活用し、その他の目的には使用いたしません。
また、活用に当たっては、統計的に処理するため、個人の情報が外部に漏れることはございません。
3. 調査の結果は、令和2年春～夏頃、公表予定です。
環境省ホームページ (http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/lifestyle.html) に掲載しますので、ご覧ください。

1. 環境問題に関する意識について

問 1-1 あなたは、現在どのような環境問題に関心がありますか。次のなかで、関心のある環境問題を選び○をつけてください。(○はいくつでも)

1	地球温暖化
2	オゾン層の破壊
3	酸性雨
4	黄砂
5	海洋の汚染
6	森林の減少
7	砂漠化
8	大気汚染
9	騒音・振動
10	悪臭
11	都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象
12	水質汚濁
13	土壌汚染
14	地盤沈下
15	廃棄物の発生量増加
16	不法投棄など廃棄物の不適正処理
17	廃棄物の最終処分場のひっ迫
18	ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染
19	内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響
20	原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少
21	人々の生活の身近にある自然の減少
22	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅

23	事故由来放射性物質*による環境汚染
24	その他 ()

*平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により当該原子力発電所から放出された放射性物質。以下同じ。

問 1-2 あなたは、近年の環境の状況についてはどのような実感を持っていますか。

(1)地域レベル、(2)国レベル、(3)地球レベルで、あなたの気持ちに最も近いところに○をつけてください。

(1)地域レベル (あなたの住まいとその周辺、地方公共団体でみて) (○は一つ)

- 1 よくなっている
- 2 ややよくなっている
- 3 変わらない
- 4 やや悪化している
- 5 悪化している
- 6 わからない

(2)国レベル (日本全体でみて) (○は一つ)

- 1 よくなっている
- 2 ややよくなっている
- 3 変わらない
- 4 やや悪化している
- 5 悪化している
- 6 わからない

(3)地球レベル (世界全体でみて) (○は一つ)

- 1 よくなっている
- 2 ややよくなっている
- 3 変わらない
- 4 やや悪化している
- 5 悪化している
- 6 わからない

問 1-3 (上の問 1-2(1)～(3)で 1 又は 2 に○をつけた方にお聞きします。)上の問 1-1(1)～(3)それぞれについて、そのように実感する理由として当てはまるものに○をつけてください。(1)～(3)それぞれ○はいくつでも)

		地域 レベル	国 レベル	地球 レベル
1	地球温暖化対策が成果を上げているから	1	1	1
2	オゾン層対策が成果を上げているから	2	2	2
3	酸性雨対策が成果を上げているから	3	3	3
4	黄砂対策が成果を上げているから	4	4	4
5	海洋汚染対策が成果を上げているから	5	5	5
6	森林対策が成果を上げているから	6	6	6
7	砂漠化対策が成果を上げているから	7	7	7
8	大気汚染対策が成果を上げているから	8	8	8
9	騒音・振動対策が成果を上げているから	9	9	9
10	悪臭対策が成果を上げているから	10	10	10
11	都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象対策が成果を上げているから	11	11	11
12	水質汚濁対策が成果を上げているから	12	12	12
13	土壌汚染対策が成果を上げているから	13	13	13
14	地盤沈下対策が成果を上げているから	14	14	14
15	廃棄物の発生量抑制策が成果を上げているから	15	15	15
16	不法投棄など廃棄物の不適正処理対策が成果を上げているから	16	16	16
17	廃棄物の最終処分場整備が進んでいるから	17	17	17
18	ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染対策が成果を上げているから	18	18	18
19	内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)対策が成果を上げているから	19	19	19
20	原生林や湿地帯などといった手つかずの自然環境保全対策が成果を上げているから	20	20	20
21	人々の生活の身近にある自然環境保全対策が成果を上げているから	21	21	21
22	野生生物や希少な動植物の保護対策が成果を上げているから	22	22	22
23	事故由来放射性物質による環境汚染対策が成果を上げているから	23	23	23
24	その他 (1)地域レベル() (2)国レベル () (3)地球レベル()			

問 1-4 (上の問 1-2(1)～(3)で 4 又は 5 に○をつけた方にお聞きします。)上の問 1-1(1)～(3)それぞれについて、そのように実感する理由として当てはまるものに○をつけてください。
(1)～(3)それぞれ○はいくつでも)

		地域 レベル	国 レベル	地球 レベル
1	地球温暖化が進んでいるから	1	1	1
2	オゾン層の破壊が進んでいるから	2	2	2
3	酸性雨による被害が広がっているから	3	3	3
4	黄砂による被害が広がっているから	4	4	4
5	海洋の汚染が進んでいるから	5	5	5
6	森林が減少しているから	6	6	6
7	砂漠化が進んでいるから	7	7	7
8	大気汚染が進んでいるから	8	8	8
9	騒音・振動による被害が広がっているから	9	9	9
10	悪臭による被害が広がっているから	10	10	10
11	都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象が悪化しているから	11	11	11
12	水質汚濁が進んでいるから	12	12	12
13	土壌汚染が進んでいるから	13	13	13
14	地盤沈下が進んでいるから	14	14	14
15	廃棄物の発生量が増加しているから	15	15	15
16	不法投棄など廃棄物の不適正処理が増加しているから	16	16	16
17	廃棄物の最終処分場がひっ迫しているから	17	17	17
18	ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染が進んでいるから	18	18	18
19	内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響が広がっているから	19	19	19
20	原生林や湿地帯などといった手つかずの自然が減少しているから	20	20	20
21	人々の生活の身近にある自然が減少しているから	21	21	21
22	野生生物や希少な動植物が減少あるいは絶滅しているから	22	22	22
23	事故由来放射性物質による環境汚染が発生したから	23	23	23

24	その他 (1)地域レベル() (2)国レベル () (3)地球レベル()
----	---

問 1-5 あなたは、現在の環境の状況についてどの程度満足していますか。

(1)地域レベル、(2)国レベル、(3)地球レベルで、あなたの気持ちに最も近いところに○をつけてください。

(1)地域レベル (あなたの住まいとその周辺、地方公共団体でみて) (○は一つ)

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない
- 6 わからない

(2)国レベル (日本全体でみて) (○は一つ)

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない
- 6 わからない

(3)地球レベル (世界全体でみて) (○は一つ)

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない
- 6 わからない

問 1-6 あなたが、現在の環境の状況に満足しているかどうか考えるときに、満足している項目、満足していない項目としてあてはまるものは何ですか。(1)地域レベル、(2)国レベル、(3)地球レベルで、それぞれ以下から選んでください((1)～(3)それぞれ○はいくつでも)。

(1)満足している項目

		地域 レベル	国 レベル	地球 レベル
1	地球温暖化	1	1	1
2	オゾン層の破壊	2	2	2
3	酸性雨	3	3	3
4	黄砂	4	4	4
5	海洋の汚染	5	5	5
6	森林の減少	6	6	6
7	砂漠化	7	7	7
8	大気汚染	8	8	8
9	騒音・振動	9	9	9
10	悪臭	10	10	10
11	都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象	11	11	11
12	水質汚濁	12	12	12
13	土壌汚染	13	13	13
14	地盤沈下	14	14	14
15	廃棄物の発生量増加	15	15	15
16	不法投棄など廃棄物の不適正処理	16	16	16
17	廃棄物の最終処分場のひっ迫	17	17	17
18	ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	18	18	18
19	内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響	19	19	19
20	原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	20	20	20
21	人々の生活の身近にある自然の減少	21	21	21
22	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	22	22	22
23	事故由来放射性物質による環境汚染	23	23	23
24	その他 (1)地域レベル() (2)国レベル () (3)地球レベル()			

(2)満足していない項目

		地域 レベル	国 レベル	地球 レベル
1	地球温暖化	1	1	1
2	オゾン層の破壊	2	2	2
3	酸性雨	3	3	3
4	黄砂	4	4	4
5	海洋の汚染	5	5	5
6	森林の減少	6	6	6
7	砂漠化	7	7	7
8	大気汚染	8	8	8
9	騒音・振動	9	9	9
10	悪臭	10	10	10
11	都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象	11	11	11
12	水質汚濁	12	12	12
13	土壌汚染	13	13	13
14	地盤沈下	14	14	14
15	廃棄物の発生量増加	15	15	15
16	不法投棄など廃棄物の不適正処理	16	16	16
17	廃棄物の最終処分場のひっ迫	17	17	17
18	ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	18	18	18
19	内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響	19	19	19
20	原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	20	20	20
21	人々の生活の身近にある自然の減少	21	21	21
22	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	22	22	22
23	事故由来放射性物質による環境汚染	23	23	23
24	その他 (1)地域レベル() (2)国レベル () (3)地球レベル()			

問 1-7 あなたは、今後の環境の状況に対して不安を感じることがありますか。

- 1 不安を感じることがある
- 2 不安を感じることはない

SQ) (上の問 1-7 で 1 に○をつけた方にお聞きます。)あなたが特に不安を感じるものがあれば、この中から最大3つ(1～3まで順位を付けて)選んでください。

		不安を感じる順番(1=最も不安を感じる)		
		1	2	3
1	地球温暖化			
2	オゾン層の破壊			
3	酸性雨			
4	黄砂			
5	海洋の汚染			
6	森林の減少			
7	砂漠化			
8	大気汚染			
9	騒音・振動			
10	悪臭			
11	都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象			
12	水質汚濁			
13	土壌汚染			
14	地盤沈下			
15	廃棄物の発生量増加			
16	不法投棄など廃棄物の不適正処理			
17	廃棄物の最終処分場のひっ迫			
18	ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染			
19	内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響			
20	原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少			
21	人々の生活の身近にある自然の減少			
22	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅			
23	事故由来放射性物質による環境汚染			
24	その他	()	()	()
25	(既に選択したもの以外には)特に不安を感じるものはない			

*1～23 の項目のほかに、環境に関わるもので不安を感じることがあれば、「24 その他」にご記入ください。

2. 環境問題に対する取組に関する意識について

問 2-1 環境問題に対して以下のような考えや意見があります。「大変そう思う」から「全くそうは思わない」までの4段階で、あなたの考えや意見に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ一つずつ○)

		大変そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそうは思わない
1	環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	1	2	3	4
2	日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている	1	2	3	4
3	大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	1	2	3	4
4	環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	1	2	3	4
5	地域の人たちが協力して、その地域の環境保全活動に取り組むことは地域コミュニティの活性化にもつながるので重要である	1	2	3	4
6	大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるための環境教育や環境学習は重要である	1	2	3	4
7	環境に関わる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することは重要である	1	2	3	4
8	我が国が、国際社会において環境面からの積極的な寄与・参加を行うことは重要である	1	2	3	4
9	行政が環境保全に関する施策を進めるに当たっては、施策を考える段階から、国民も積極的に参加できるようにする必要がある	1	2	3	4

問 2-2 あなたは、今後、以下にあげるようなことを行いたいと思いますか。当てはまるものに○をつけてください。(それぞれ一つずつ○)

		すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う	すでに行っているが、今後はあまり行いたいとは思わない	これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思う	これまでに行ったことはなく、今後も行いたいとは思わない	当てはまらない
1	日常生活において節電等の省エネに努める	1	2	3	4	—
2	再生可能エネルギー由来の電気等の環境負荷が少ない電気を調達する	1	2	3	4	—
3	クールビズ・ウォームビズに取り組む	1	2	3	4	—
4	日常生活においてできるだけごみを出さないようにする	1	2	3	4	—
5	不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユースにまわす	1	2	3	4	—
6	ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする	1	2	3	4	—
7	家庭で消費し切れない未使用食品は地域の福祉施設・団体等に寄贈するフードドライブに取り組む	1	2	3	4	—
8	運転の際には、不必要なアイドリングや空ぶかし、急発進はしない	1	2	3	4	5 ※1
9	日常生活において節水に努める	1	2	3	4	—
10	油や食べかすなどを排水口から流さない	1	2	3	4	—
11	買い物の時は、製品に含まれる化学物質を成分表示で確認して選んでいる	1	2	3	4	—

12	オーガニック商品(有機栽培の食品、衣類、化粧品等)を選んでいる					
13	物・サービスを購入するときは環境への影響を考えてから選択する	1	2	3	4	—
14	宅配便の再配達が発生しないよう努める	1	2	3	4	—
15	地域における環境保全のための取組に参加する(緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計画策定等)	1	2	3	4	—
16	体験型(※2)の環境教育・環境学習活動に参加する	1	2	3	4	—
17	講習会等で得た環境保全に関することを実践する	1	2	3	4	—
18	環境に対してよいと思うことを知人や友人に伝えたり広めたりする	1	2	3	4	—
19	旬のもの、地のものを選んで購入する	1	2	3	4	—
20	地産地消(ある地域で生産されたものを、その生産された地域内において消費する取組)を実践する	1	2	3	4	—
21	避難訓練、消防活動等の地域で行う防災活動に取り組む	1	2	3	4	—
22	ESG 投資(環境・社会・企業統治といった要素を考慮する投資)に取り組む	1	2	3	4	5 ※3

※1: 現在、自動車の運転をしておらず、今後も運転する予定がない場合は「5」に○

※2: 体験型の環境教育・環境学習活動とは、たとえば、自然観察会や水質調査、河川・砂浜・地域の美化・清掃活動、植林活動など、環境やその問題に関する体験活動や調査活動などの具体的な実践をいいます。なお、講習や勉強会などの座学のみものは含みません。

※3: 現在、ESG 投資だけでなく、投資全般をしておらず、今後も投資自体をする予定がない場合は「5」に○

問 2-3 環境を守る上で最も重要な役割を担っているのは、この中のどれだと思いますか。(○は一つ)

- 1 国民
- 2 事業者(企業・産業界)
- 3 民間団体(地域団体や環境団体)
- 4 地方公共団体(県や市町村)
- 5 国(政府)
- 6 その他(具体的に:)
- 7 わからない

3. シェアリングサービスの利用状況について

問 3-1 シェアリングサービス(※)について、以下を活用したことはありますか。当てはまるものに○を一つつけてください。

- 1 移動のシェア(カーシェア、ライドシェア(自動車相乗り)、サイクルシェア等)
- 2 空間のシェア(シェアハウス、貸し農地、貸し会議室等)
- 3 モノのシェア(衣類(フリーマーケット)、食(フードバンク)等)
- 4 スキルのシェア(介護、育児等)
- 5 お金のシェア(クラウドファンディング等)

※個人等が保有する活用可能な遊休資産等を他の個人等とも利用可能とする経済活動。

<選択選択肢は4つ(A~D)>

- A: 活用していて、今後も活用したいと思う
- B: 活用したことはあるが、今後活用したいとは思わない
- C: 活用したことはないが、今後活用したいと思う
- D: 活用したことがなく、今後活用したいとは思わない

4. 環境情報に関する意識について

問 4-1 以下のような環境問題に関する情報の量や質について、あなたはどの程度満足していますか。(それぞれ一つずつ○)

		十分満足している	まあ満足している	あまり満足していない	ほとんど満足していない	そもそも関心がない
1	あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報(居住地域の大気汚染物質濃度など)	1	2	3	4	5
2	地球の環境問題に関する情報(国際的な森林破壊面積など)	1	2	3	4	5
3	環境問題が生活に及ぼす影響	1	2	3	4	5
4	日常生活が環境に及ぼす影響	1	2	3	4	5
5	開発事業が周辺環境に及ぼす影響	1	2	3	4	5
6	環境問題に対する国や地方公共団体の政策	1	2	3	4	5
7	企業の環境保全に関する取組状況	1	2	3	4	5
8	企業の事業活動に伴う環境汚染物質、廃棄物などの環境の負荷に関する情報	1	2	3	4	5
9	世界的な環境保全の動き(国際的な環境保全のための条約や会議の開催など)	1	2	3	4	5
10	暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動	1	2	3	4	5
11	購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報	1	2	3	4	5
12	環境問題に困った場合の地方公共団体等の相談窓口に関する情報	1	2	3	4	5
13	環境保護団体の情報(NGO・NPOなど)	1	2	3	4	5
14	展示会・講演会・セミナーなどの案内	1	2	3	4	5
15	自然とふれあうための施設やイベントについての情報	1	2	3	4	5

問 4-2 問 4-1 で挙げたような環境情報全般に関する量や質について、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 十分満足している
- 2 まあ満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 ほとんど満足していない
- 5 そもそも関心がない
- 6 わからない

問 4-3 上の問 4-1 で挙げられた下記項目について、あなたはどのように情報を得ていますか。(それぞれ○はいくつでも)

		環境 NGO 等によるもの	ホームページ(国や地方公共団体、大学、ホーム・ページ(ブログを含む個人サイト))	白書、統計書、パンフレットなど	セミナーや講演会、説明会など	テレビ	新聞	WEB上のニュース	メーリングリスト	SNS(※)	学校・職場・家族・身近な人	その他
1	あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報(居住地域の大気汚染物質濃度など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2	地球の環境問題に関する情報(国際的な森林破壊面積など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
3	環境問題が生活に及ぼす影響	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
4	日常生活が環境に及ぼす影響	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
5	開発事業が周辺環境に及ぼす影響	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

6	環境問題に対する国や地方公共団体の政策	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
7	企業の環境保全に関する取組状況	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8	企業の事業活動に伴う環境汚染物質、廃棄物などの環境の負荷に関する情報	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
9	世界的な環境保全の動き(国際的な環境保全のための条約や会議の開催など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
10	暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
11	購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	環境問題に困った場合の地方公共団体等の相談窓口に関する情報	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
13	環境保護団体の情報(NGO・NPOなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
14	展示会・講演会・セミナーなどの案内	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
15	自然とふれあうための施設やイベントについての情報	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

※SNS:ソーシャル・ネットワーク・サービス

問 4-4 あなたは、1～2年前と比べて、環境情報に関する興味が増えていますか。(○は一つ)

- 1 以前よりもとても興味がある
- 2 以前よりも少し興味がある
- 3 変らない
- 4 以前よりも少し興味が無い
- 5 以前よりもとても興味が無い
- 6 わからない

問 4-5 あなたは、1～2年前と比べて、環境情報全般に関する量や質についての満足感に、変化はありましたか。(○は一つ)

- 1 以前よりもとても満足度が高まった
- 2 以前よりも少し満足度が高まった
- 3 変わらない
- 4 以前よりも少し満足度が下がった
- 5 以前よりもとても満足度が下がった
- 6 わからない

問 4-6 あなたの環境情報全般に関する量や質についての満足度が高まった理由は何ですか。理由として当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)【問 3-5 で 1 又は 2 と答えた人のみ】

- 1 以前よりも情報の量が増えたと感じるから
- 2 以前よりも情報の質がよくなったと感じるから
- 3 以前よりも情報の更新が早くなったと感じるから
- 4 以前よりも情報が見つけやすくなったと感じるから
- 5 以前よりも情報の内容がわかりやすくなったと感じるから
- 6 その他()

5. 環境に対する関心の変化について

問 5-1 あなたは5年程前(※)と現在を比べた場合、環境に対する関心が変化したと感じますか。

※5年程前の主な出来事:2014年:消費税増税(5%→8%)、御嶽山噴火

- 1 もともと関心は高かったが、前よりも関心が低下したと思う
- 2 もともと関心は高かったが、前と関心は変わらないと思う
- 3 もともと関心は高かったが、前よりも関心が更に高まったと思う
- 4 もともと関心は低かったが、前よりも関心が更に低下したと思う
- 5 もともと関心は低かったが、前と関心は変わらないと思う
- 6 もともと関心は低かったが、前よりも関心が高まったと思う

問 5-2 (上の問 5-1 で、1 又は 4 に○をつけた方にお聞きします。)関心が低下した理由は何ですか。

- 1 環境に配慮した製品・サービスが身近になるなど、環境が身近になったことで、特に意識をすることがなくなったため
- 2 環境問題が以前より改善されたと思うため
- 3 環境問題がメディアで取り上げられることが減ったため
- 4 環境問題よりも他のことへの関心が高まったため
- 5 環境問題が複雑になりすぎ、何が問題か分かりづらくなったため
- 6 自身が環境への関心を持つことによって、世の中に影響を与えられるとは思えないため
- 7 特に理由は思い当たらない
- 8 その他()

問 5-3 (上の問 5-1 で、3 又は 6 に○をつけた方にお聞きします。)関心が高まった理由は何ですか。

- 1 環境に配慮した製品・サービスが身近になるなど、環境が身近になったことで、自身も環境を意識するようになったため
- 2 環境問題が以前より悪化したと思うため
- 3 環境問題がメディアで取り上げられることが増えたため
- 4 環境以外の他の問題への関心が低下したため
- 5 自身が環境への関心を持つことによって、世の中に影響を与えられると思うため
- 6 特に理由は思い当たらない
- 7 その他()

6. あなた自身についてお答えください。(それぞれ一つずつ)

F-1. 性別

- 1 男性
- 2 女性

F-2. 年齢 あなたは満何歳ですか。

- 1 20－29歳
- 2 30－39歳
- 3 40－49歳
- 4 50－59歳
- 5 60－69歳
- 6 70歳以上

F-3. 職業 あなたのご職業は何ですか。

- 1 農林漁業の自営・家族従業者
- 2 商工販売サービス業の自営・家族従業者
- 3 自由業(医師、弁護士、著述業等の個人事業者)
- 4 2. 以外の会社役員・会社経営
- 5 会社員
- 6 公務員
- 7 団体職員
- 8 学生
- 9 パート・アルバイト
- 10 専業主婦
- 11 無職
- 12 その他

F-4. 居住地区 現在あなたの住んでいるところはどのような地区ですか。

- 1 住宅の多い地区
- 2 商店その他の事務所の多い地区
- 3 工場の多い地区
- 4 農山漁村地区
- 5 その他

F-5 居住地域 現在あなたの住んでいる地域はどこですか。

- 1 北海道・東北
- 2 関東
- 3 北陸
- 4 中部
- 5 近畿
- 6 中国・四国
- 7 九州・沖縄

F-6 都市規模 あなたの住んでいる市区町村の都市規模について教えてください。

- 1 政令指定都市
- 2 10 万人以上の市、東京 23 区
- 3 10 万人未満の市
- 4 町村

